

たかさう 連携だより

2022年発行
第191号
12月号

第28回地域連携症例検討会 2~3
小児救急部長 五十嵐 恒雄

診療科紹介 歯科口腔外科 4
歯科口腔外科医長 稲川 元明

金澤名誉院長ご逝去のご報告 5
院長 小川 哲史

新しい糖尿病教育入院パスのご案内 6
内分泌・代謝内科部長 淡沢 信行

緩和ケアニュース 7

51期生「決意式」を終えて 8
51期生 石田 彩夏

臨床検査科だより 9

医師紹介コーナー 10

地域医療連携登録医のご紹介 11

セカンドオピニオンのご案内 12~13

外来診療担当表 14~15

院長閑話 16

撮影：患者サポートセンター 高田美和子

華蔵寺公園の
イルミネーション
(伊勢崎市)

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

第28回 地域連携症例検討会

小児科領域疾患の診断と治療の連携



小児救急部長
五十嵐 恒雄

10/24の第28回症例検討会は、小児科で担当させていただき、COVID-19とアレルギー疾患を主題としました。

最初に御任紫野先生から、2020年6月～2022年9月発症の小児COVID-19患者について、当科で診察した患者データを集計した結果を報告していただきました。2022年1月～9月をオミクロン株流行期とした場合、

- ① COVID-19患者数は入院・外来・痙攣発症例の全てにおいてオミクロン株流行期で増加したこと
- ② 痙攣を認めた症例数はオミクロン株流行期以前で1人であったのに対し、流行期では9人あり、症例数が少なく有意差がみられないものの、痙攣発生患者はオミクロン期で有意に多いとしている
国立成育医療センターの研究結果と同様の傾向がみられたこと

が示されていました。痙攣の発症は熱発から24時間以内、持続時間は5分以内が最多であり、年齢では6歳以上の割合が3割以上で、通常の熱性痙攣よりも年長の児の発症が多かったことも特徴的でした。

柴塚拓巳先生からは、オミクロン株でのCOVID-19感染拡大に伴い、当院における小児の入院患者も増加する中、印象に残った3症例として、

- ① 生後3か月の乳児期早期の児
- ② COVID-19による発熱を原因とした熱性けいれんの重積例
- ③ 基礎疾患として肢体型筋ジストロフィーのある児の経過

を報告していただきました。いずれも輸液などの対症療法のみで良好な経過を得て自宅退院となっていますが、インフルエンザとの同時流行を迎えた場合、入院適応の的確な判断が必要となることが強調されていました。

内田亨先生からはCOVID-19流行前の2019年度から2021年度までの3年間の小児喘息急性増悪入院例について、COVID-19流行が小児喘息の急性増悪に与えた影響を診療録より後方視的に検討した結果として、

①喘息急性増悪による総入院患者数は2019年度では111例で、2020年度は19例と大幅に減少していたのに対し、COVID-19流行が続く中であっても2021年度は前年度より入院例が増加したこと

②感染を契機としない増悪は、例は少ないながらも各年度で大きな変化はなかったことの二点を報告頂きました。2020年度の喘息急性増悪入院数は、この時期の比較的嚴重な感染対策のもとで著しく減少しており、小児喘息の急性増悪の多くが呼吸器感染症と関連していることが示唆されるとともに、2021年度の入院数の増加は種々の感染症への感受性が高い小児が増えた事や、行動制限の緩和が要因と考えられるとの考察がなされていました。

最後に佐藤幸一郎先生からは消化管アレルギー症例のうち、

①7か月男児で、各種鶏卵特異的IgE抗体陽性、各種小麦特異的IgE抗体陰性で鶏卵による即時型食物アレルギー（FA）を疑われ受診、当院受診時の血液検査では小麦特異的IgE抗体も上昇しており、摂食による即時型反応を認めたことから、鶏卵・小麦によるFAとしてフォローしている例

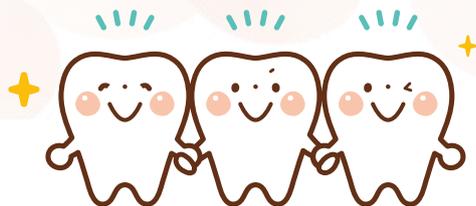
②6か月男児で加熱卵黄摂取後2時間で嘔吐を認め、鶏卵によるFAを疑われ受診、各種鶏卵特異的IgE抗体陰性で固形食物(卵黄)による新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症（Solid-FPIES）が疑われて、食物経口負荷試験（Oral Food Challenge）にて確定診断とした例

の2例を報告いただきました。まとめとして、当院では被疑食物や耐性獲得の判断、安全摂取量の決定を目的に、アナフィラキシー歴のある患者を含め年間100例程度のOFCを行っていることや、食物アレルギーに対する当院の診療方針をお話しいただきました。

当科は、地域の小児科基幹病院であることを自覚するとともに、小児科への受診が、保護者の世代にとっては病院の印象を決める機会となり得ると考え、病院のショーウインドーとなる診療科との意識ももって、診療の充実を目指しています。未だ道半ばの現状ですが、牛の如き歩みながらも後戻りをすることが無いよう地域の先生方とともに前に進んで行ければと考えております。COVID-19にインフルエンザの同時流行も懸念され、今冬も気に抜けない冬となりそうですが、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



歯科口腔外科の紹介



歯科口腔外科医長
稲川 元明



私たち歯科口腔外科は2009（平成21）年9月より当院で診療を開始して、今年で14年目になります。現在6名の常勤歯科医師、4名の非常勤歯科医師、5名の歯科衛生士で構成されています。ほぼすべての口腔外科疾患に対応できるような体制をとり、外来や病棟や手術室で業務にあたっています。2021年に外来をご受診いただいた患者さんのはのべ1万5千人以上、150件近くの手術を行いました。

「歯科口腔外科」というと親知らずを抜いたり、口の中の病気の手術をしたりする印象をお持ちのかたも多いかもしれません。もちろんそういったことも得意ではありますが、その他にもかかりつけの医療機関からの依頼を受けて糖尿病や心疾患といったいわゆる全身疾患をお持ちの患者さんの歯科治療をしたり、お口から食べる機能を維持したり、病気や手術の後になるべく早く食事を再開できるように病棟や外来で飲み込みの機能を評価してリハビリテーションをご指導させていただいたりといったことを、病棟では「摂食嚥下回診」（2021年の受診数のはのべ2070人）で、外来では「摂食嚥下外来」（2021年の受診数のはのべ246人）で行ったりしています。とくに摂食嚥下外来については往診機能を兼ね備えておりますので、必要と認めたさいには訪問診療が可能です。また虫歯や歯周病といった病気がないにもかかわらず口の中や顔面に生じる、原因がなかなかわかりにくい痛みの治療は「口腔顔面痛外来」（2021年の受診数のはのべ1106人）で積極的に行っています。

このように地域の医療に貢献できるよう地域の先生がたと緊密に連携し、各医員の専門性を活かした診療内容を幅広く展開しております。ご受診のさいにはかかりつけの先生からの紹介状をお持ちになりお越しく下さい。

どうぞよろしく願いいたします。





金澤名誉院長の ご逝去を悼むとともに、 先生に心より 感謝申し上げます。

院長 小川 哲史

2022年11月19日、金澤名誉院長がご病気によりご逝去され、11月24日に高崎市内の葬儀場で告別式が挙行されました。

先生は、茨城県立水戸第一高校から群馬大学医学部に進学され、昭和49年にご卒業後、同第二内科および関連病院で研究や臨床に従事されました。昭和57年に当院の前身である国立高崎病院に内科医師として赴任され、昭和59年に循環器科医長、平成13年に副院長、平成19年からは病院長に就任され、平成24年に退職されるまでの長期間、当院および地域医療の発展に貢献されました。

そのご功績は多岐にわたります。まず循環器科医長として、救命救急センターCCUの立ち上げと運営、新設された循環器科の診療体制の整備、副院長としては、新病院建替え整備、病院機能の改革、地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院の認定など、そして院長にご就任されてからは、新病院の竣工、地域災害拠点病院や病院機能評価の認定、地域連携の強化や病院経営の健全化、医師や看護師の確保、DPCへの移行など、また地域医療再生基金の獲得等にも尽力されました。このように当院の改革、立て直しとともに、現在の高崎・安中地域全体の医療体制の基礎を築かれました。その際、先生は高崎市医師会をはじめ高崎市さらに国の行政とも綿密な連携を図り、地域全体の強固な協働体制を確立されました。その体制は「高崎モデル」と称され、現在も国立病院機構で模範とされています。さらに平成24年に名誉院長になられてからも国立病院機構理事長の任命により、経営改善担当の本部顧問として他の地域の病院の経営改善に尽力されました。

先生は非常に温和な性格であるとともに、周囲の意見を広く聞き、的確な決断と粘り強い実行力で様々な業務を遂行されました。部下からの人望も厚く、患者さんはもちろん病院職員からも非常に尊敬され、かつ慕われておりました。そして何より、先生ほど当院および職員、そして地域を愛した先生はいらっしゃいません。

職員一同、深く先生のご逝去を悼み、生前のご功德を称えるとともに、謹んで哀悼の意を表し、今後とも先生のご功績をしっかりと受け継いでいく所存です。登録医の先生方や市民の皆様、今後ともご指導ご鞭撻、またご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

新しい糖尿病教育入院パス のご案内

内分泌・代謝内科部長 渋谷 信行

入院一週間以内の新しい糖尿病教育入院パスが出来ました。

2018年以降、糖尿病教育入院プログラムを多くの皆様に活用していただいております。この度、入院期間を短縮し一週間以内とした新しい糖尿病教育入院パスの運用を開始しました。

これまで糖尿病療養支援チームを中心に糖尿病教室を定期開催し、これをプログラムの中心に据えて教育入院を実施して参りました。参加された皆様には“ためになった”“学んだことをこれから実践していきたい”などおおむね好評を頂き、その後の血糖値コントロールや患者さんの療養生活に活かされてきたものと思っています。一方でご紹介いただくかかりつけの先生方や患者さんの中には、「仕事の関係で、長い期間の休業は難しい」「もう少し短い入院期間にはならないか」というご意見を頂く事がありました。そこで今回糖尿病教室と教育入院プログラムを見直しました。

入院期間は原則一週間以内（例えば日曜日午後入院、土曜日退院）です。患者さんのご都合により平日5日間でも可能です。ただし、著しい高血糖のある患者さんではやはり一週間以上の入院期間が必要となる場合があり、十分な血糖値の改善は退院後の糖尿病コントロールにも好影響をもたらします。入院適応の場合それぞれの状況で相談をさせていただきます。

糖尿病教室はこれまで通り、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、内分泌・代謝内科医師、歯科口腔外科医師が講師を務めます。糖尿病患者・家族が病気や治療法について正しく理解し、日常生活を送るうえで必要な知識や注意すべき点を習得していただく大切な機会です。これからも“患者さんに寄り添い、ともに学ぶ”という姿勢を大切に、患者さんのより良い療養のお役に立てるよう努力して参ります。ご意見、ご要望も承ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



世界糖尿病デー

11月14日糖尿病週間にブルーにライトアップされた白衣大観音と高崎市総合保健センター

引き続き、糖尿病地域連携パスもご活用下さい。

先生方におきましては、ご紹介いただく際に紹介状に「**地域連携パス希望**」と一言付け添えてください。教育入院後の療養について患者さんと目標設定を行い、かかりつけの先生方とも共有して外来診療を連携して行って参ります。



緩和ケアニュース

緩和ケアにおけるリハビリテーション

緩和医療が主体となる場面でのリハビリテーションの目的は、「患者さんご家族の希望・要望を把握した上で、その時期にできる限り質の高い生活を実現すること」です。

患者さんの身体機能やリハビリに対する要望に合わせてリハビリテーションを行っていますが、具体的には以下のような事を実施しています。

日常生活動作・基本動作・歩行の安定性の確立、能力の向上



残存能力+福祉機器
(車椅子、杖、手すり、自助具…)
の活用、動作のコツの習得

痛みの緩和

ポジショニング（車椅子移乗時、
臥床時）、ストレッチ、
リラクゼーション



廃用症候群の予防・改善

長期間の寝たきり状態による
全身の筋力低下
および関節の拘縮予防



むくみ症状の緩和・改善

生活動作の指導

呼吸をする時の息苦しさを緩和

呼吸方法の指導、呼吸介助、
リラクゼーション

安全な栄養摂取の手段の確立



食形態・食べ方、
姿勢の調整

心理的サポート

レクリエーション、
訪室しての日常会話



当院では、患者さんご家族の希望に応じて、各専門スタッフが対応しております。患者さんご家族の質の高い生活を実現する一助として、治療や病態に合わせてリハビリの内容の工夫・検討をしながら、リハビリテーションを提供していきたいと思っております。リハビリをご希望の際には、担当主治医へ相談して下さい。

51期生「決意式」を終えて

51期生 石田 彩夏



聖火継承

私達51期生は、10月28日に決意式を行いました。決意式とは、看護学生一人ひとりが自分自身を見つめ直し、どのような看護師になりたいか、看護の道を志す意思を固める機会となる式典です。本校では基礎看護学実習Ⅱを終え、11月下旬から始まる専門分野の領域別実習の前、2年次のこの時期に行っています。この日に向けて4月から決意式委員を中心に準備をしてきました。

決意式は、誓いの言葉を述べる式典と私たちの大切にしたい看護についてまとめ発表する二部構成で行いました。第一部では、フローレンス・ナイチンゲールの灯火を母体病院の看護部長から受け継ぐ聖火継承を行い、一人ひとりが蠟燭を持ち誓いの言葉を述べました。誓いの言葉は、皆で意見を出し合い、これから看護師を志すものとして自分たちの決意を表せる内容を考えました。「患者さんに寄り添い信頼関係を築くこと」「その人らしさを大切にしながら看護を行うこと」「根拠に基づいた知識と確かな技術を身につけ、自己の向上を図ること」「高い倫理観をもち、責任をもって看護を提供すること」を誓いました。51期生の全員で声をそろえて誓いの言葉を唱和した時、改めて自分が看護師という専門職を目指すことを自覚し、同じ目標を持つ仲間と互いに高め合いながら看護の道を進んでいく決意を新たにしました。

第二部では、7月の基礎看護学実習Ⅱで行った自分達の看護について振り返り、私たちの大切にしたい看護をまとめ、発表を行いました。会場設営や司会などの運営も51期生が担当し、主体的に取り組みました。3年生や1年生も参加し、活発な意見交換の場となりました。行った看護について共感してもらったり、もっとこうしたら良かったのではとアドバイスをもらい、新たな学びになることが多くありました。また、仲間の学びを聞き、今後の実習へ活かしたいと思う内容もあり、大切にしたい看護について考えを深めることが出来ました。

私たちは、新型コロナウイルス感染症拡大の中入学し、自宅学習やオンライン授業などによりこれからの学校生活に不安を覚えたこともありました。しかし、今は感染防止に努めながら学校で仲間と学び、臨地実習も行わせて頂いています。私たちを支えてくださる方々に感謝し、同じ目標を持つ51期生の仲間と51期生の学年花であるさざんかの花言葉のように、一途に看護の道を歩み、ひたむきに努力していきます。



第二部の様子



同窓会よりコサージュを頂戴しました

運動負荷心電図とは、運動をして心臓に負荷をかけたときの心電図変化をみる検査です。検査室内で行われる12誘導心電図検査では否定できない、虚血性心疾患を検出・診断するために行います。運動により誘発される狭心症の診断や心筋梗塞後の運動耐容能測定での重症度評価を目的とする場合もあり、ほかの心電図検査より危険を伴い、医師が対応できる体制で慎重に行う必要があります。運動負荷心電図の一番簡単な検査法は、2段ある階段を昇り降りするマスターの2階段試験、より正確に診断するには、負荷を調整しながら検査を行うトレッドミルやエルゴメーター試験があります。今回は院内で実施している運動負荷心電図検査について紹介します。

◆マスターの2階段運動負荷試験

運動を始める前の心電図と負荷後の心電図の比較をする方法で、検査の目的と患者の状態に応じてシングル（1分半）、ダブル（3分）などと実際に運動をする時間が決められます。

安価で場所を取らず、他の運動負荷検査に比べると簡便です。

しかし、決められた負荷量（年齢、性別、体重で求められる）のため各個人にあった十分な負荷量が得られないといった欠点があります。

また運動中のバイタルモニターの確認は通常行っていないため、心電図変化に気づかずに運動を続けてしまう危険もあります。



◆エルゴメーター運動負荷試験

自転車のペダルを踏むことで徐々に運動負荷を与える方法です。

椅子に移乗するように乗ることができるため、立つことが難しい方でも介助しながら乗ることができ、運動中の心電図、血圧、血中酸素濃度をモニタリングしながら目標心拍数 $\langle(220 - \text{年齢}) / \text{分の} 85\% \text{以上}\rangle$ を目指します。

途中で胸部痛や有意な心電図変化を伴った場合は直ちに中止することができます。



◆心肺運動負荷試験

自転車のペダルを踏むことで運動負荷を与えるエルゴメーターを用います。

また、呼気ガスモニターを用いることで、 O_2 摂取量、 CO_2 排出量を評価することができるため、心臓のみ、肺のみ、血管のみといった単独の臓器を評価するのではなく、肺機能・心機能・末梢循環・肺循環・骨格筋機能を含んだ全身の運動耐容能が評価できるのが大きな特徴です。

心臓に病気のある方がリハビリを行える運動強度を知ることができるため、安心して日常生活を送ることにつながります。



これらの運動負荷検査をする場合は、動きやすい格好、履きなれた靴でご来院ください。

医師紹介 コーナー

当センターの
医師を
紹介します!



2022年4月より外科医師として赴任いたしました、井田 晃頌（いだあきのぶ）と申します。生まれは埼玉県秩父市で、群馬大学を卒業後、当院にて2年間臨床研修医として勤務させて頂きました。大学時代、非常にお世話になった群馬と、地域の皆様に恩返しをしたいという思いがあり翌年、群馬大学医学部附属病院の外科診療センターに入局し、大学勤務を経て再び当院に赴任することとなりました。当院のカバーする医療圏の広さは県内でも有数で、外科は急患や緊急手術も非常に多く、約半年で既に100件以上の手術執刀を経験させて頂いています。スタッフも今年度から増員となり、尊敬するベテランの先生方と方針を相談しながら診療に当たっておりますので、安心してご受診・ご紹介ください。若輩者ではございますが、その分、患者様に近い存在として、ご不安を伺い、分かりやすい説明を心がけ、事情やご希望を踏まえた形の治療を提案できれば幸いと考えております。地域の先生方におかれましては、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



●外科

いだ あきのぶ
井田 晃頌

令和4年4月1日から高崎総合医療センター呼吸器内科に勤務しております神山花凜と申します。研修医として令和2年から勤務していたことを覚えてくださっている患者様からはあたたかい言葉をいただき大変嬉しく思います。

呼吸器内科はアレルギー、感染症、がん、膠原病など幅広い分野からなります。地域の先生方との連携も不可欠です。先生方におかれましては、患者様を通して確かなつながりを感じております。なかなか直接お話をする機会がなく残念ですが、先生方のお力なしには質の高い、持続的な医療の提供はできないと考えております。この場をお借りし感謝申し上げます。

また、患者様におかれましては、医療の進歩により治療の選択肢も増える中、どういう選択をすべきか迷うことも多々あると思います。できる限り時間をかけて患者様自身、もちろんご家族の皆様含めお話をさせていただき、一人一人の暮らしを想像しながら寄り添った医療を提供したいと思っておりますので、担当させていただいた際にはいろいろなお話をお聞かせください。

今後さまざまな経験を通し、深みのある医師へと成長したいと思っております。ご迷惑をおかけしてしまうことも多々ありますが、地域の皆様のお役に立てるよう日々精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

●呼吸器内科

かみやま かりん
神山 花凜

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

月夜野病院

院長あいさつ

1968年の開業時から治療の一環として運動機能訓練を重要視してきました。その方針は今も月夜野病院のリハビリテーションを重視した地域医療として受け継がれています。これからも私たちは、リハビリテーションを通して明るい高齢化社会を目指していきます。



月夜野病院
院長

櫻井 明



診療科・病院案内

外科・内科・整形外科・脳神経外科・胃腸内科
肛門外科・リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:00~17:00)	●	●	●	●	●	△	△

群馬県利根郡みなかみ町真庭316 TEL:0278-62-2011

2016年10月に現在の新しい月夜野病院が完成し、新たに回復期リハビリテーション病棟を設置、県下でも有数の広い機能訓練室を整備しました。入院、外来、通所、訪問とあらゆる場面でリハビリテーションを行っております。

砂長胃腸科外科医院

院長あいさつ

当医院では、主に消化器一般（胃、大腸、肝、胆、膵、肛門等）を対象とした疾患の診断、治療を行っています。
また、長年の開業実績により、近在総合病院との病診連携も充実しており、入院治療などが必要であれば直ちに総合病院に紹介し、それぞれの疾患ごとに最適な治療が行えるよう努めています。



砂長胃腸科外科医院
院長

砂長 博明



診療科・病院案内

胃腸科・外科・内科・肛門科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~17:30)	●	△	●	△	●	△	△

群馬県高崎市稲荷台町1305-1 TEL:027-373-2263

癌をはじめポリープなどの良性腫瘍、胃十二指腸潰瘍、炎症性疾患などの診断、治療（ピロリ除菌を含む）及び療養指導のほかに、経鼻内視鏡や大腸ポリペクトミーも行っており、可能ならば初診当日でも内視鏡その他の必要な検査を行い、疾患の早期診断に努めております。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療(カテーテル治療)	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般(眼腫瘍を除く)	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 <small>予約のみ</small> 植原 大介	木村 彰仁 <small>午前</small> (真下 大和) <small>予約のみ</small>	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) <small>午後・予約専門外来</small>	佐藤 正通 木村 彰仁 <small>午前</small>
栄養食事指導外来		佐藤 正通 <small>午後</small>			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	新井 茉莉 (植原 良太)	植原 正也 新井 茉莉	渋沢 信行 <small>午後</small>	渋沢 信行 植原 正也
神経内科	(池田 雅美) 平柳 公利 <small>初診のみ</small>	平柳 公利 椎名 葵 <small>午後</small>	菊池 雄太郎 平柳 公利 <small>初診のみ</small>	丸山 琴音 <small>午前</small> (古田 夏海) <small>午後・新患外来</small>	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 神山 花凛 <small>午前</small>	細野 達也 内田 恵 <small>午前</small>	田口 浩平 黒岩 裕也 <small>午前</small>	中川 純一 板井 美紀 <small>午前</small>	細野 達也 内田 恵 <small>午前</small>
消化器内科	長沼 篤 <small>午前</small> 安岡 秀敏 <small>午前</small> 上原 早苗 <small>午前</small> 都丸 翔太 <small>午前</small> (石原 弘) <small>午後</small>	星野 崇 <small>午前</small> 鈴木 悠平 <small>午前</small> 佐野 希望 <small>午前</small> 都丸 翔太 <small>午前</small>	柿崎 暁 <small>午前</small> 安岡 秀敏 <small>午前</small> 増田 智之 <small>午前</small> 成清 弘明 <small>午前</small> (石原 弘) <small>午後</small>	長沼 篤 <small>午前</small> 増田 智之 <small>午前</small> 鈴木 悠平 <small>午前</small> (工藤 智洋) <small>第2, 4週午後</small>	星野 崇 <small>午前</small> 佐野 希望 <small>午前</small> 鍋木 琢也 <small>午前</small> 古澤 愛望 <small>第1, 3, 5週午前</small> 古市 望 <small>第2, 4週午前</small> (岡野 祐大) <small>午後</small>
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 成清	安岡 / 増田 / 鍋木	上原 / 佐野 / 都丸	上原 / 佐野 / 都丸	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	大田 昌樹 <small>午前・通常 / 午後・不整脈外来</small> 村田 智行 <small>午前</small> 大駒 直也 <small>第1, 3週午前</small>	小林 洋明 高橋 伸弥 <small>午前</small> (金澤 紀雄) <small>再来</small>	広井 知歳 大田 昌樹 <small>午後・不整脈外来</small> 羽鳥 直樹 <small>午前</small>	福田 延昭 <small>午前</small> 高橋 洋右 <small>第1, 3週午前</small> 千吉 長彩 <small>第2, 4週午後</small> (金澤 紀雄) <small>再来</small>	大田 昌樹 <small>第2, 4週午後・ペーシング外来</small> 小林 紘生 <small>午前・通常 / 午後・不整脈外来</small> 柴田 悟 <small>午前</small>
新患外来(午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	小林 洋明
心不全予防外来		第2・第4午後			
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 内田 亨 <small>午後</small> 御任 紫野 <small>午後</small> (荒川 篤康) <small>午前</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 倉田 加奈子 <small>午前</small> 坂本 康大 <small>午後は第1, 2, 3, 5週のみ</small> (神尾 綾乃) <small>第4週午後</small>	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 倉田 加奈子 <small>午後</small> 佐藤 幸一郎 <small>午後</small> (滝沢 琢己) <small>第2, 4週午後</small> <乳児健診> <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small> 植原 実紅 <small>午後</small> 柴塚 拓巳 <small>午後</small> (西澤 拓哉) <small>午後</small> (岩脇 史郎) <small>午前</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 佐藤 幸一郎 <small>午後</small> 永井 裕介 <small>午後は第1, 2, 4, 5週のみ</small> (浅見 雄司) <small>第3週午後のみ</small>
小児外科		(西明・高澤慎也) <small>第4週午後</small>	(西明・高澤慎也) <small>第1, 3週午後</small>		
外科 (消化器)	坂元 一郎 <small>午前・通常 / 午後・肝胆脾専門外来</small> 田中 成岳 <small>午前・通常 / 午後・食道専門外来</small>	小川 哲史 <small>午前</small> 星野 万里江 <small>午前</small> 小川 哲史 <small>午後</small>	岡田 幸士 <small>午前・通常 / 午後・上部消化器専門外来</small> 生方 泰成	平井 圭太郎 <small>午前・通常 / 午後・肝胆脾専門外来</small> 牛久保 陸生 <small>午前</small>	宮前 洋平 <small>午前・通常 / 午後・下部消化器専門外来</small> 井田 晃頌 <small>午前</small>
栄養サポート外来					
禁煙外来		小川 哲史 <small>午後</small>			
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	

1 外来診療受付時間

8:30 ~ 11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでのお薬をご持参ください。

2 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通じた
事前予約にご協力下さい。

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 <small>午前</small>	栗原聰太 柴田康博 <small>午前</small>	交代制	柴田康博 井上雅晴 <small>午前</small>	交代制
疼痛緩和内科	田中俊行 鯉淵幸生 <small>午前</small>	田中俊行 鯉淵幸生 <small>午前</small>	田中俊行 鯉淵幸生	田中俊行 (荻野美里) <small>第2,4週午後</small>	田中俊行 高他大輔 <small>午前</small>
乳腺・内分泌外科	徳田尚子 成澤瑛理子 <small>午前</small>	高他大輔 徳田尚子 <small>午前</small>	高他大輔 徳田尚子	(田邊恵子) <small>第1,3,5週午後</small> 交代制 <small>午前</small>	徳田尚子 成澤瑛理子 <small>第1,3,5週午前</small>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 <small>午後</small>	<手術日>	小谷野哲也 羽鳥恭平 <small>午前</small>	茂原淳 <small>午前</small>
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 齋藤健一 加地卓万	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 加地卓万	新井厚 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 齋藤健一 一ノ瀬剛
形成外科	<手術日>	中村英玄	中村英玄	中村英玄	交代制
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) <small>午前</small>	栗原秀行 上原顕仁 <small>午前</small>	<手術日> 上原顕仁 <small>午前</small>	笹口修男 上原顕仁 <small>午前</small>	佐藤晃之 上原顕仁 <small>午前</small>
皮膚科		(茂木精一郎) <small>第2,4週午前</small>	西尾麻由 <small>午前</small>	西尾麻由 <small>午前</small>	西尾麻由 <small>午前</small>
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 大枝涼平	<産後健診>	峰村成 (金井真理) <small>午前</small>	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 <small>紹介・予約</small>	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 <small>午前</small>
放射線治療科	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 弓崎晃 <small>午前</small>	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 富澤建斗 <small>午前</small>
歯科口腔外科	柴野正康 <small>紹介・予約</small>	<手術日>	薬師寺孝 <small>紹介・予約</small>	薬師寺孝 柴野正康 <small>紹介・予約</small>	<手術日>
新患外来	薬師寺孝 <small>紹介・予約</small>		柴野正康 <small>紹介・予約</small>	交代制 <small>紹介・予約</small>	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 木村将典 倉持真理子 <small>第1,3,5週のみ、紹介・予約</small>	稲川元明 倉持真理子 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 木村将典 倉持真理子 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 木村将典 倉持真理子 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 倉持真理子 <small>紹介・予約</small>

()の医師は非常勤です。

令和4年12月1日現在

3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

ブラボー!サムライブルー!

院長閑話

vol.21



病院長 小川 哲史

ワールドカップ カタール大会が始まりました。日本代表チーム、サムライブルーは、ほんの数時間前にクロアチアにPK戦で敗れ、またしてもベスト16止まりでした。しかし、今回は予選リーグで強豪ドイツとスペインを破り、世界中が驚いた2つの大金星、まさにブラボー!最高の勝利でした!長友の「ブラボー」と「三苦の1mm」は、もう少し時期が早ければ、今年の流行語大賞候補だったですね。

いつものように自分の思い出話を書きます。昭和40～50年代、TV放映されていたスポーツは、プロ野球、大相撲、プロレスくらいで、まだプロ化されていない日本のサッカーは放映されていませんでした。しかし、週末の夕方、12チャンネルで「三菱ダイヤモンドサッカー」という番組があり、世界最高峰のサッカーを45分間、観ることができました。初めて観る海外のサッカー、そのテクニックとスピードは驚異的で、一瞬にして攻守が入れ替わるダイナミックな試合に完全に魅了されました。特にブンデスリーガは、ベッケンバウアーやゲルト・ミュラーなどのスター選手がいて、そして日本人初のプロサッカー選手の奥寺の活躍もあり、毎週楽しみに観ていました。岡野俊一郎氏の名解説とともに今でも懐かしく思い出します。

あの時代、欧州や南米のレベルは日本と比べるとまさに異次元で、強豪国との試合では日本は初めからなめられている感じで、簡単に先制ゴールを奪われ、その後は見下すように悠々とボールを回されることが多く、ボールに触れることもできない選手はさぞ悔しかったでしょう。私たち観ているものも、グラウンド内で手玉に取られる代表選手が哀れで観ていられないほどでした。時に相手が真剣になると「〇〇国が本気になった!」なんて喜んでいたり、今考えると悲しいですね。日本の選手は体格や身体能力で明らかに劣っていて、得意の気合や根性など精神論や大和魂ではいかんともしがたく、また日本人には相手の選手や審判を欺くようなマリーシア(ずる賢さ、したたかさ)が足りないために、これ以上強くなれない、とも言われていました。

1993年のJリーグ発足とともに、ジーコなどの世界的なスターもいて一気にサッカー熱が盛り上がり、私も何回かスタジアムに足を運びました。そしてドーハの悲劇を経て、夢のワールドカップに出場。その後、海外でプレーする選手がどんどん増えて、昔TVで観た雲の上の世界、ブンデスリーガやプレミアリーグで日本人選手が中心選手として活躍し、キャプテンになったり、さらに遠藤がブンデスリーガの2年連続の「デュエル王」だなんて、全く隔世の感があります。キャプテンの吉田が開催前のTVインタビューで「負けただけよくやったと褒められるグッドルーザーの評価はもういらない。ウイナーになりたい。勝ちたい。」って言ってました。努力したプロセスや、試合後のロッカーやスタジアムの整理整頓や掃除、他者への気遣いなどで賞賛されるのではなく、勝利のみを求める姿に感銘を受け、死の組のグループリーグ突破にわずかに期待していました。

今回、目標としていたベスト8には届かなかったけど、選手個人の力は確実にレベルアップしていると思います。そして今の選手はイケメンでかっこいい選手が多く、言動もスマートで自信にあふれているのもいいですね。日頃、Jリーグの試合を観ることもなく、代表戦、特にワールドカップとなると予選から夢になる「にわかサッカーファン」の私としては、4年後が本当に楽しみです。

それにしても、われらが「ザスパクサツ群馬」、もう少し強くないもんですかね…。

(12月6日)

INFORMATION

行事などのお知らせ

高崎総合医療センター
公式Facebook

●第31回地域連携症例検討会

『眼形成眼窩外科、総合診療・内科領域 疾患の診断と治療の連携』

日時：2023年1月13日(金) 18:45～20:00

演者：高崎総合医療センター

眼形成眼窩外科部長 笠井 健一郎

総合診療科内科部長 佐藤 正通

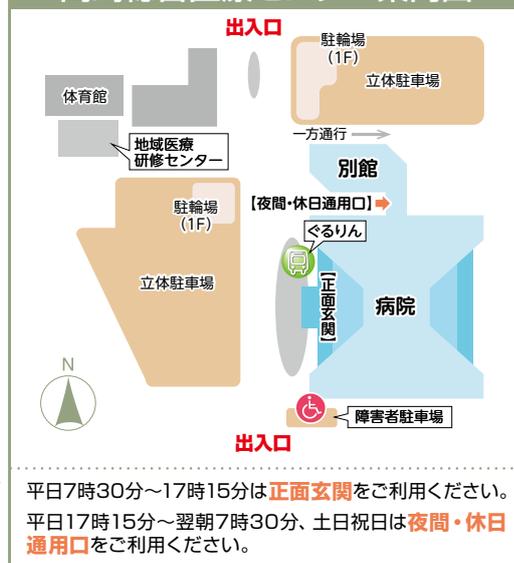
対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要



高崎総合医療センター案内図



編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

独立行政法人・国立病院機構
高崎総合医療センター